

# 地方創生に向けた提言

平成27年10月19日

新居浜市政策懇談会

## 新居浜市長 石川 勝行 様

新居浜市におかれましては、地方創生、人口減少問題の克服につきまして、現在、「新居浜市人口ビジョン」及び「新居浜市総合戦略」の策定作業を進められていることと存じます。

新居浜市政策懇談会においても、4月24日の第1回政策懇談会の場で、地方創生に向けた提案を依頼したところ、各団体から多くの提案が寄せられました。その提案について、去る10月9日に行われた第3回政策懇談会において審議し、承認をいただけたため、石川市長に対しまして提言をいたします。

いずれの提案も地方創生に向けた貴重な提案でございますので、新居浜市におかれましては、可能な限り総合戦略に盛り込んでいただき、地方創生への取組を推進していただくよう、よろしくお願い致します。

新居浜市政策懇談会 会長 小野 幸男

## 地方創生に向けた新居浜市政策懇談会からの提言

基本目標1			
新たな雇用を創り出し、地元産業を振興します			
番号	提案者	事業名	概要
1	にいはま川柳会 (新居浜市女性連合協議会)	ベンチャー企業の育成	市内には住友各社を定年退職した技術者が大勢居る。その人材と起業者（ベンチャー企業）のマッチングを図り、ベンチャー企業の製品開発、販路開拓等を支援する仕組みを検討してほしい。
2		産業振興について	市内中小企業支援を強化してほしい。 (若手従業員の教育、企業間連携、若者向け市内企業紹介イベントの開催、Uターン者就職照会システムの作成)
3		遊休地への企業誘致	船木の池田の池南側に旧ジャストシステムの遊休地がある。風光明媚で知的企業にとってはいい場所だと思われる。そこへITやコンサル企業等を誘致する。
4	国際ソロプチミスト新居浜みなみ (新居浜市女性連合協議会)	高校生のためのキャリアサポート	高校生が新居浜で就職できるよう地域の企業、店等の紹介を含めた小グループでの話し合いをサポートする。
5	すいよう作業所 (新居浜市福祉施設協議会)	農業分野における障がい者就労の推進事業	農・福・教連携推進チームを発足させ、農業分野での障がい者就労支援に取り組む。 (障がい福祉サービス事業所利用者と職員による、耕作放棄地・遊休農地を活用した野菜栽培を契機に、栽培技術を蓄積し、障がい福祉サービス事業所の農業参入を目指していく。)
6	新居浜市物産協会	産業祭の実施	新居浜市内には市民に知られていない優良企業がたくさんある。 そこで年1回、市をあげて産業祭を実施し活力ある新居浜市をPRする。
7	にいはま環境市民会議	地方創生への視点	第3次産業に従事する者への教育システム（専修学校、看護学校など）を積極的に充足（誘致）し、そこで市外の子女も含めて学び、市内に就職できる環境づくりをする。
8	新居浜商工会議所	高度な技術を持つ中核人材を育成するための研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新居浜高専・住友各社・地元企業より講師を招き、より高度で、住友各社の企業ニーズに沿ったカリキュラムの中核人材育成研修を「ものづくり人材育成協会」で実施する。</li> <li>・一定の技術について動画を活用した「見える化」によって、技術の伝承を図る。</li> </ul>
9		ものづくり業界のニーズに沿った求職者訓練と正社員化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製缶・配管・溶接等の基本的な技術の訓練や技能を確保し、就労に繋げる。</li> <li>・基本的な知識や技能を習得した人材を確保するとともに、正規社員の増加を図る。</li> <li>・「新居浜ものづくり人材育成協会」による求人企業のニーズに対応した「機械加工」や「溶接」などの基礎訓練を実施することにより、基本的な技能を有する人材を養成し、正社員化を図る。</li> </ul>



# 基本目標1

## 新たな雇用を創り出し、地元産業を振興します

番号	提案者	事業名	概要
10	新居浜商工会議所	地元教育機関における建設技術者の養成と若手人材の確保	土木・建築業界の第一線で活躍できる専門性の高い技術者を養成するため、工業高校、高専内へ建築関連の学科や専門課程の創設を県に要望する。
11		愛媛大学工学部と連携した実践的な職業教育を行う高等教育機関の誘致及び新居浜工業高等専門学校の7年制への移行	愛媛大学工学部と連携し、国が認定する「職業実践力育成プログラム」に該当するような「当市ものづくり業界のニーズに沿った実践的で新たな高等教育機関」を当市に誘致する。 また、新居浜高専についても、地域に密着したもののづくりの実践的な教育学科の新設及び7年制への移行について、国・県に対して要望する。
12		にいはま版創業応援プロジェクト1 「にいはま版 創業補助金制度による支援」	「にいはま版 創業補助金制度」の創設 補助金額：100万円から補助する。ただし、一定以上の雇用や経済波及効果が認められる場合は最大1,000万円補助する。
13		にいはま版創業応援プロジェクト2 「日本政策金融公庫等『創業融資』に対する中小企業振興条例に基づく利子補給制度の創設」	日本政策金融公庫等の創業融資に対する利子補給制度を創設する。地方（地元）での開業を検討しているU I Jターン希望者に対し「日本一開業しやすいまち」であることを情報発信することにより、他地域からの移住・定住が促進される。
14		にいはま版創業応援プロジェクト3 「創業（予定）者等に対する課題解決支援事業」	創業（予定）者や小規模事業者のあらゆる課題に対応する専門家等による体系的かつ一元的な「トータルサポート無料相談会」の実施
15		地域経済の持続的発展に資する小規模事業者支援策の拡充	中小企業振興条例の拡充 （小規模事業者が実施する、販路拡大への取り組み、複数事業者の連携した取り組み、雇用の増加、従業員の処遇改善に向けた取り組み、移動販売などによる買い物弱者対策等への支援）
16		中小企業従業員の健康診断の実施と生産性の向上	多くの中小零細事業所が健康診断を実施していない現状を踏まえ、中小零細事業所における健康診断結果報告の法制化（行政指導）を図る。
17		ものづくり関連の職人や技能者の顕彰制度の導入	国や県の顕彰制度はハードルが高いため、市独自の顕彰制度を導入する。特許や意匠登録を有していない方で特筆すべき技術力を持つ従業員、技能者を自薦・他薦で募集し、新居浜市、新居浜商工会議所、機械産業（協）等からなる第三者委員会によって認定し、広く情報発信する。
18		公共機関が所有するデータのオープンデータ化	<ul style="list-style-type: none"> <li>市や公共機関が持つリアルタイムな情報、データの公開及び全国の公共機関が連携したオープンデータへの取り組みを推進</li> <li>オープンデータを安心して活用できるルール作りと市民からの意見収集</li> </ul>



## 基本目標2

### 居住地・観光地としての魅力を高め、定住人口・交流人口を拡大します

番号	提案者	事業名	概要
19	にいはま川柳会 (新居浜市女性連合協議会)	駅前への飲食店誘致	駅前に夜間も営業している飲食店(食堂)を誘致してほしい。現状は、夜8時にもなると駅周辺は真っ暗になる。
20		新田橋の架け替えについて	新田橋(山根)を周辺の風景(生子橋や煙突山)にマッチする古風な橋に掛け替える。秋祭りの太鼓台が渡れば、大変風情がある。(参考:京都の渡月橋)
21	新居浜市食生活改善推進協議会	移住・定住の促進について	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市雇用環境の良さを対外的にアピールする。</li> <li>若者等、市外転出者から意見を行く場を設け、そこから出てきた提案を踏まえたUターン促進施策を実施する。</li> </ul>
22	(一社)新居浜市観光協会	移住・定住者への優遇支援	移住・定住者への優遇支援を促進して、空き家対策にも貢献する。
23	新居浜市中学校校長会	公園等の整備について	各公園や別子ラインなどの維持・整備費を増額し、いつ訪れても気持ちの良い環境となるよう、継続的な整備をする。
24		マイントピア別子や東平の施設充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイントピア別子に宿泊施設、川原で水遊びができる施設を作る。</li> <li>マイントピア別子(端出場)と東平をロープウェイで結ぶ。</li> </ul>
25	国際ソロプチミスト新居浜みなみ (新居浜市女性連合協議会)	高校生のためのキャリアサポート	新居浜で就職した場合、返さなくて良い奨学金制度を創設する。
26	新居浜文化協会	イベント(ふれあい)広場の整備	大型駐車場を完備したイベント広場の整備(広場の外周は散歩・ランニングコースとして使用)
27		「すぐやる課」の創設	安全安心に暮らすことの出来るきれいな市にするため、「すぐやる課」を設け、市民の困ったことを受け付け、やれるものはすぐにやる(活動内容を市政日より等で報告し、効果をアピールする)。
28	にいはま環境市民会議	地方創生への視点	都会へ修学した子女が新居浜に帰って生活できる職場や居住場所を拡充する。
29	ハートランド三恵 (新居浜市福祉施設協議会)	サイクルツーリズムによる街づくり	新居浜にある資源を利用して様々なサイクリングコースを設置する。また、新居浜駅や市役所にサイクリングターミナルを設置する。
30	新居浜商工会議所	銅婚式の里としてのPR	新居浜市で銅婚式(結婚7年目)のイベントを開催する。結婚7年目のカップルを募集し、マイントピア別子などを会場に、記念に残る銅にまつわる銅婚式イベントを開催する。過去に金・銀・銅サミットを開催した佐渡市、太田市にも同様のイベント開催を呼びかけ、連携を図る。



## 基本目標2

### 居住地・観光地としての魅力を高め、定住人口・交流人口を拡大します

番号	提案者	事業名	概要
31	新居浜商工会議所	多目的総合運動公園新設によるスポーツを通じた交流人口の拡大	新居浜インターからアクセスの良い郷検端線沿いに多目的な総合運動公園を建設し、硬式野球、バレーボール、バドミントン、ウエイトリフティング等の公式戦を開催。スポーツを通じた交流人口の増加を図る。
32		観光に関する基本計画の策定	第五次新居浜市長期総合計画において「近代化産業遺産を活用した観光の振興」がうたわれ、そのための方策として明記されている「観光振興計画の策定」について早期の策定を提言する。
33		U I J ターンによる移住促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと回帰センターのホームページを通じて、住友各社を含む、新居浜の魅力ある求人情報を発信し、定住促進の一助とする。</li> <li>地元中小企業就職者に対する奨学金返済支援制度を拡充し、奨学金未利用者が3年以上勤務した場合は、ふるさと就労支援金を支給する。</li> <li>地元出身者を雇用した場合、雇用促進奨励事業を拡充する</li> <li>地元企業への大学生等のインターンシップ実施を推進する。</li> <li>空き家対策（安全対策と移住希望者とのマッチング支援）を推進する。</li> </ul>
34	新居浜金融協会	学力の向上	県立高校のレベルが下がってきているということで、中学卒業後市外へ流出している現状を踏まえ、勉強のできる子の進学の見通しでの施策が必要。
35		産業遺産の対外的なPRの工夫	産業遺産は素晴らしいが、PRが対外的に弱いので、インバウンド（訪日外国人旅行）を含めたPRの工夫が必要。



### 基本目標3

浜っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を充実するとともに健康長寿社会を実現します

番号	提案者	事業名	概要
36	新居浜市小学校校長会	多様性（ダイバーシティ）を認め合う社会への変革	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の充実（教員の増員、交流・共同学習の充実）</li> <li>再チャレンジ支援（スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの増員等）</li> </ul>
37		学校を核とする地方創生（スクール・コミュニティ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学等の誘致</li> <li>学校、公民館、児童センターの連携・複合化</li> <li>学校の統廃合は慎重に議論すべき</li> </ul>
38	新居浜市中学校校長会	学校教育環境向上プロジェクト（子育て支援・少子化対策の充実）	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設の修繕費や改修等の予算増額</li> </ul>
39		地域での子育て応援隊事業（子育て支援・少子化対策の充実）	地域の人材を活用して、公民館等で学習支援をしたり、地域ごとに総合型スポーツクラブを立ち上げ、そこで指導者として活動する仕組みを作れば、子育て支援や少子化対策にも寄与するものと思われる。
40	嵯峨御流東予新居浜支部（新居浜市女性連合協議会）	育児支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性が積極的に育児に参加するよう法律（条例）を制定する。</li> <li>様々な就労形態を考慮し、保育時間の延長を図る。（企業内保育所の設置を推奨する）</li> </ul>
41	国際ソロプチミスト新居浜みなみ（新居浜市女性連合協議会）	子育て支援、少子化対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援人材バンクを設立する。</li> <li>放課後の学童保育の充実を図り、長期休業中の子どもの居場所を確保する。</li> </ul>
42	新居浜地区防犯協会	「ふれあいサロン」一括管理業務	ふれあいサロン向けのメニューを一元管理している所があれば、メニューの企画が容易になり、サロンの開催団体も増える。メニューは高齢者向けだけでなく、幼児や障がい者向け、自治会等の催し物向けのものもあっても良い。
43	新居浜地区労働者福祉協議会	子育て支援・少子化対策の充実	愛媛県勤労会館にて、お付き合いしたい人、結婚願望のある方を対象に男女の出会いの場を提供している。こうした出会いの場を地道に提供することで、結婚する方が増えれば、少子化問題の解消に繋がるのではないかと考える。
44	にいほま環境市民会議	地方創生への視点	資源循環型及びエネルギー節減型社会の形成を推進し、それらを具体的に実現する環境教育・学習の場として「環境ひろば」の充足を望む。
45	（一社）新居浜市観光協会	出産祝金の支給	<ul style="list-style-type: none"> <li>出産1人目に20万円、2人目に30万円、3人目に50万円程度支給する。</li> </ul>
46	新居浜商工会議所	高齢者の健康寿命の延伸と医療費の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>シルバー人材センターの登録業種の拡充</li> <li>高齢者がボランティアで貢献した時間を将来自分の介護時間に使えるポイント制システムの構築</li> <li>要介護者を地域で支える仕組み作り及び知識習得のための費用補助</li> <li>高齢者の趣味やスポーツなどの全国大会の制度化</li> </ul>



### 基本目標3

浜っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を充実するとともに健康長寿社会を実現します

番号	提案者	事業名	概要
47	新居浜商工会議所	晩婚化の解消に向けた婚活事業等の 拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活イベント（カップリング交流会）の拡充</li> <li>・結婚サポーター制度の創設</li> <li>・えひめ結婚支援センターとの連携、センター入会登録料の補助</li> </ul>
48		子育て支援策の拡充	<p>(放課後児童クラブ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象学年を拡大し、小学生全学年とする。</li> <li>・保護者の就労状況を考慮し、19時まで延長する。</li> <li>・日曜日、祝祭日も8時から18時まで開設する。</li> </ul> <p>(保育園)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立、私立ともに、保護者の就労状況を考慮し、19時まで延長する。</li> <li>・日曜日、祝祭日についても8時から18時まで開園する。</li> </ul> <p>※児童クラブ、保育園ともに日曜日、祝祭日については、エリアごとに希望者数に応じた受け入れ態勢を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病児、病後児保育の拡充</li> </ul>
49		多子家庭に対する経済支援策の 拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生までの医療費無料化 ※高校生については、入院の場合のみ医療費補助</li> <li>・保育料については2人目半額、3人目以降無料とする。 (3人目無料化の第1子の年齢要件は撤廃する。)</li> <li>・出産費用、学校給食費についても3人目以降は補助制度を設ける。</li> <li>・奨学金の制度緩和</li> </ul>
50	新居浜市歯科医師会	歯科医療費の助成の拡充	現在小学生までが対象となっている歯科医療費の助成を中学生まで拡大する。



## 基本目標4

### 市域を越えた連携を進め、地域特性を踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します

番号	提案者	事業名	概要
51	にいはま川柳会 (新居浜市女性連合協議会)	新・新居浜市歌の制定	新居浜市制80周年記念行事として新居浜市歌を現在の風土に合ったものに変更する。
52	新居浜建設業協同組合	スポーツ振興による活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統廃合等による遊休施設を活用したスポーツ専門学校を創設。</li> <li>・既存の運動施設を総合運動公園として集約化し、競技の指導に携わることができる人材を管理者として雇用</li> <li>・セーリングや重量挙げといった愛媛国体での本市開催種目は、国体終了後もナショナルチームの合宿や全国規模の大会を誘致</li> <li>・スポーツ専門学校の在校生は地元のJr、中・高校生と連携し競技力向上に努める。</li> </ul>
53	新居浜市中学校校長会	あいさつ日本一の街づくりプロジェクト	あいさつ日本一を目指して、学校や地域でいろいろな活動が展開されている。現在の活動に加えて、学校や公民館近くの道路を「あいさつ通り」と名づけて看板を揚げたり、道路を着色をしたりすれば、市民のあいさつへの意識の向上が図られる。
54		市民向け講座の充実	市民が生涯学習等の様々な趣味によって、生きがいを得られるように、市民向け講座を充実させる。(パン作りの教室等)
55		市営住宅の改築・新築	老朽化し、住環境が悪化している市営住宅の改築や建て替え
56	なごみの会 (新居浜市女性連合協議会)	環境美化について	旧八雲自治会館が空き家となっており、地域の景観を非常に悪くしている。県の所有建物かと思うが、市の方でも対応を検討してほしい。
57	新居浜商工会議所	民間木造住宅の耐震化向上を通じた安全安心なまちづくり	地元ケーブルテレビ等を活用し、耐震診断・改修工事に係る助成制度の周知を図る。あわせて、宅地建物取引業協会や建設業協会等、業界団体から施工業者に対し、改修時の補助制度の周知を図る。あわせて、補助率、補助対象を拡充する。
58		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多極ネットワーク型コンパクトシティの推進</li> <li>・新居浜市商業振興センターの常設市場化の推進</li> <li>・銀ビル銀泉街地区の再開発等の推進</li> </ul>	<p>人口ビジョン・改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の趣旨に則った以下の事業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 計画的な土地利用の推進、中心市街地活性化基本計画の策定</li> <li>(2) 郊外等に分散、不便を感じている機能の集積促進</li> <li>(3) 商業振興センターの常設市場化の推進</li> <li>(4) 銀ビル・銀泉街地区の再開発等の推進</li> <li>(5) 全天候型公園として、憩いの森公園の再整備の実施</li> <li>(6) 口屋の復元及び進入路の拡幅工事</li> <li>(7) 中心市街地(まちなか)の定住人口の拡大</li> <li>(8) 公共交通の一体化、商業振興センター付近へのバス停新設</li> </ol>
59	新居浜市連合自治会	空き家対策について	空き家バンク制度の創設による空き家の活用に加え、安全安心のまちづくりを推進するため、危険空き家の対策を実施する。
60	新居浜市公民館連絡協議会	地域主体のまちづくりへの行政の支援について	これからは、ますます地域主体となったまちづくりを進めていく必要があるが、それに対する行政からの支援を考えてほしい。